



注意

- 水辺には設営しない。(急な水かさの増量により、重大な事故の原因)
- ペグで地面に固定する。(テント・タープが風で飛ばされ、けがの原因)

- ランタンは電池式以外は使用しない。(不完全燃焼による事故の原因)
- 強風時は、ランタンを吊さない。(落下によるけがの原因)

上手な  
使いかた

- 内側がコーティングされているため、水に濡らしたり、直射日光が当たったりしないようにしてください。
- 付属のハンマーはサービス品のため、別売品のご使用をおすすめします。

- お手入れ時、ベンジンやシンナーは使用しないでください。
- ランタンハンドルの形状により、S字フックなどの取り付けが必要な場合もあります。



## 設営・取扱説明書

当設営・取扱説明書、製品に縫製されているケアラベル、付属のテントオーナーズマニュアル、パッケージ上に記載されている注意事項をよくお読みください。



## 部品構成表 ( )は素材

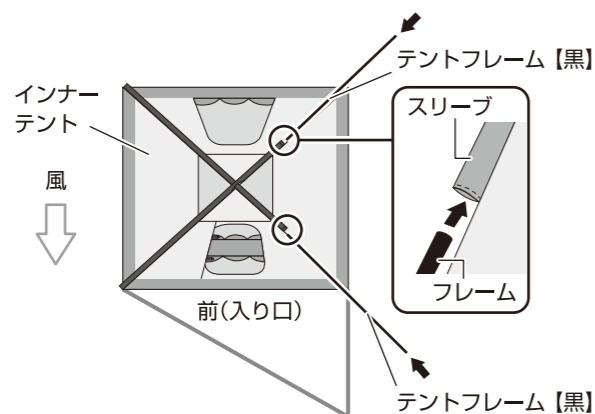
フライシート × 1 (ポリエステル)	インナーテント × 1 (ポリエステル)	テントフレーム【黒】 × 2 (グラスファイバー) (9節)	リッジフレーム【黒】 × 1 (グラスファイバー) (12節)(コの字)
ペグ × 14 (スチール)	ロープ × 6 (PP)	ハンマー × 1 (スチール)	
	※一部装着済	※サービス品	

- 設営方法**
- 設営は2人以上で行ってください。
  - 風向き、日当たり、水はけなどを考慮して設営位置を決めてください。

### 1 インナーテントを広げて、テントフレームをスリーブに押し込む すべてのフレームを連結して組み立てる。

#### Point

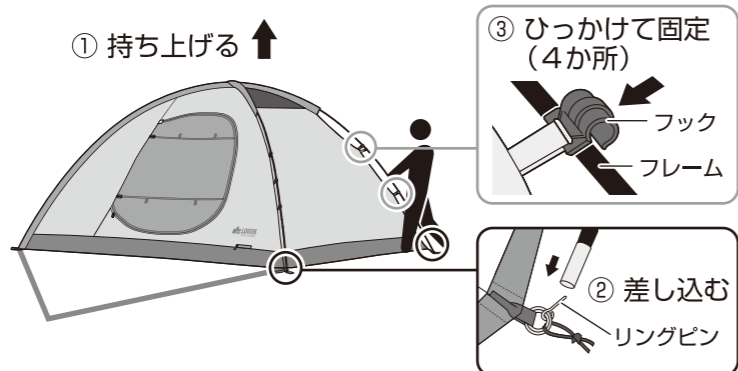
- 入り口が風下になるようにしてください。
- フレームは引っ張ると、連結部が外れるため必ず押してください。



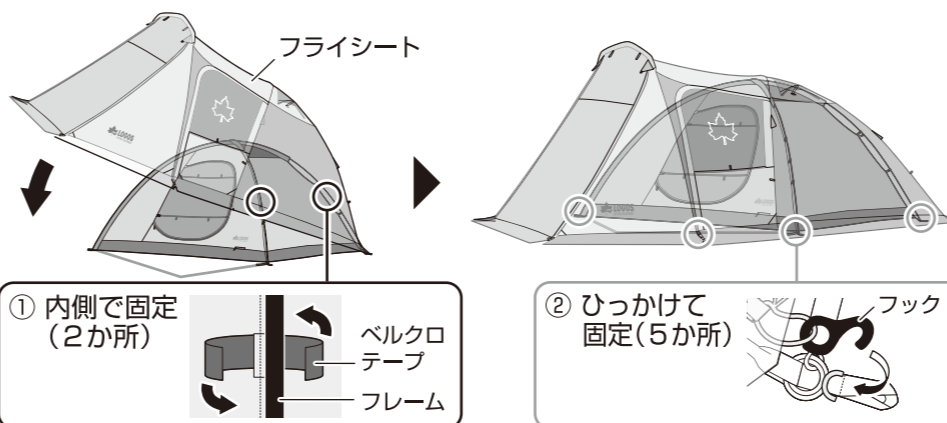
### 2 インナーテントを持ち上げながら、フレーム先端にリングピンを差し込む フレームがスリーブの端まで差し込まれているか確認する。

#### Point

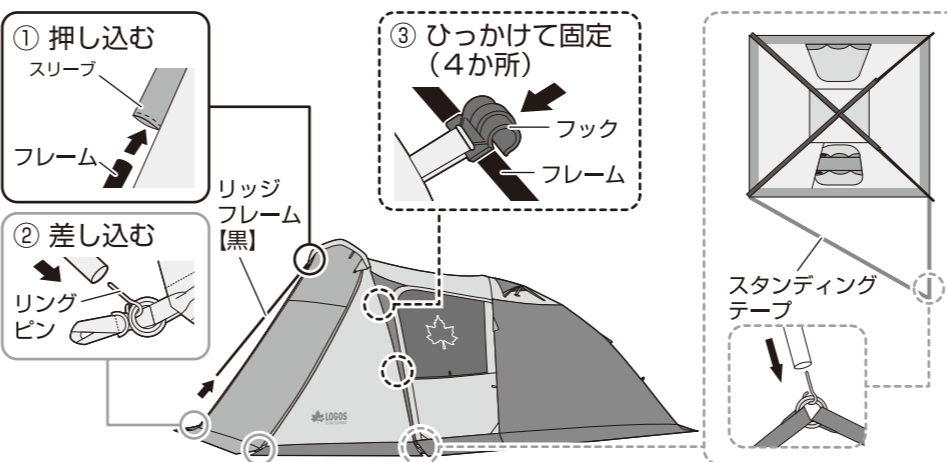
- 風が強いときは、風上側をペグで軽く固定すると設営しやすくなります。



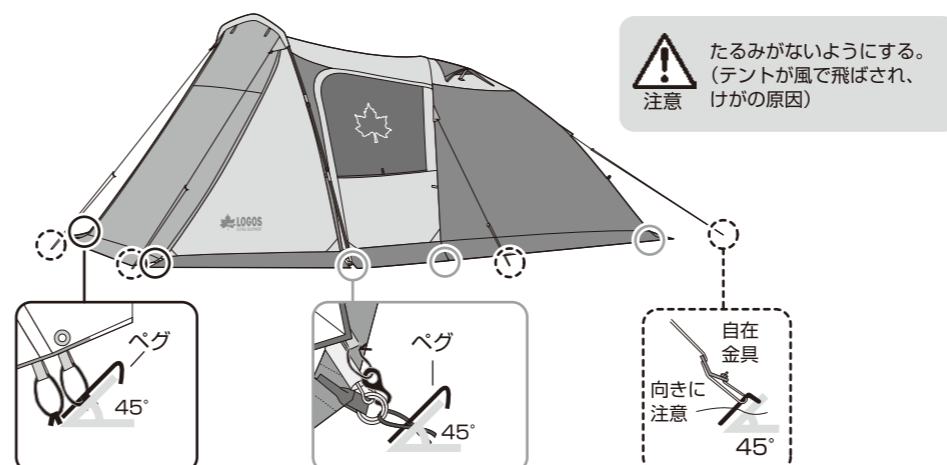
### 3 フライシートをインナーテントにかぶせる



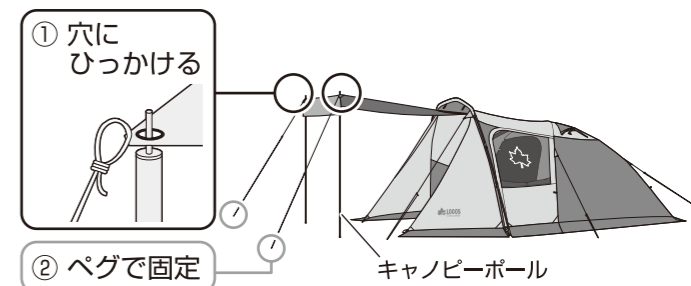
### 4 リッジフレームをスリーブに押し込む



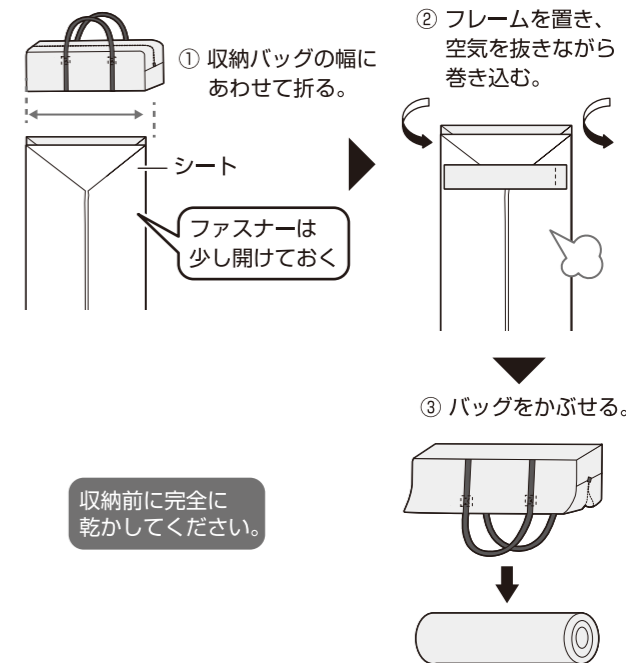
### 5 ペグで地面に固定する ペグは14か所打ち込む。



### ■ 入り口の固定のしかた 【キャンピーポール(別売品)を使用する場合】



### 収納のPoint



廃棄は、お住まいの地域のごみ分別方法にしたがってください。

Designed by  
**LOGOS CORPORATION**  
発売元:  
株式会社 ロゴスコーポレーション

〒559-0025 大阪市住之江区平林南2-11-13  
お客様専用回線 ☎0120-654-219 (受付時間: 平日10時~17時迄)

■ホームページ/ [www.logos.ne.jp](http://www.logos.ne.jp)  
■全国キャンプ場の空き情報/ [www.campjo.com](http://www.campjo.com)